厚生労働科学研究費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 「公衆衛生医師の人材育成に向けた好事例の横展開に向けた研究」 令和4年度 分担研究報告書

「過去の公衆衛生人材確保と育成に関する調査レビュー」

吉田穂波(神奈川県立保健福祉大学大学院へルスイノベーション研究科)、町田宗仁 (国立保健医療科学院・研究代表者)、名越究(島根大学医学部)、武智浩之(群馬県利 根沼田保健福祉事務所)、宮園将哉(大阪府健康医療部保健医療室)、山本長史(北海道 渡島総合振興局(渡島保健所兼八雲保健所))、横山勝教(香川県東讚保健福祉事務 所)、杉山雄大(国立大学法人国立国際医療研究センター研究所糖尿病情報センター、 筑波大学医学医療系へルスサービスリサーチ分野・研究協力者)

研究要旨

【目的】今般の新型コロナウイルス感染症のまん延は保健所を中心とした健康危機管理の重要性を浮き彫りにしたが、医療と行政の橋渡しを行う保健所等勤務の公衆衛生医師確保や人材育成については、これまで長年の懸案事項であった。「公衆衛生医師確保に向けた取組事例集」(2012年・厚労省)をもとに自治体が採用活動を展開しているものの、都道府県保健所の約1割が保健所長を兼務する状態が続いている。

本研究では、これまでの確保から人材育成までの取組をレビューするとともに、各地での取組のプロセスの好事例を収集し、その後のフィードバックも行う。また、近年の健康危機管理事例を踏まえた公衆衛生医師に求められる関係機関との調整能力等、保有すべきコンピテンシーに関する現状と課題について分析する。さらに、公衆衛生医師志望者の新規開拓に向けた基礎資料として、若手医師や医学生に公衆衛生業務に関する意識調査を行う。これらにより、医療と行政の橋渡しを行う公衆衛生医師の人材育成方策の横展開を推進するためのコンテンツを構築し、ひいては公衆衛生行政サービスの充実を図ることを目標とする。

【方法】今後に向けて公衆衛生医師の確保・育成を進展させるため、本研究班では、 直近 10 年間にわたって行われてきた自治体向け調査、現役公衆衛生医師や臨床医、 医学生向けの意識調査を含めた研究事業報告書のレビューを行った。

【結果】調査内容は主に全国の都道府県における公衆衛生医師の現況や充足状況、自治体におけるウェブサイトやパンフレット等による公衆衛生医師確保事業、公衆衛生医師のキャリア志向、勤務環境に関するものが多かった。直近5年間では自治体の体制整備だけでなく医学生や医師個人に対するアンケート調査の増加がみられた。時系列で経年的変化を把握すべき要因としては①自治体における公衆衛生医師確保の現状(採用計画、募集方法、奨学金制度、医育機関経由の働きかけ等)、②各自治体におけるウェブサイト・広報事業、③新規採用数・現員数・離職率、④医学生や医師臨床研修を受け入れる保健所数だと考えられた。これまで行われてきた自治体向け調査のレビューを踏まえ、人材確保育成に関する調査内容が明確になるとともに、普遍的な人材確保のニーズと現場の悩み、個人の意識や行動選択要因を概観することにつながった。

【結論】本研究結果は、本年度の研究班全体で行う各地の医師人材確保の好事例収集、 公衆衛生医師に求められる能力分析、さらに、若手医師や医学生の公衆衛生業務に関 する意識調査にも役立てられると考えられる。

A. 研究目的

た。

新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)パンデミックにより保健医療サービスに対する国民のニーズが高度化、多様化しており、保健医療行政の重要性が増している。国民の健康意識向上が顕著となった現在、エビデンスに基づく正しい健康情報を届け、行動変容につなげることは保健医療行政における重要な役割であり、ここで活躍が期待される専門家として、公衆衛生医師の必要性が

今ほど顕在化している時期はない。本研

究班では、この時流をとらえ、公衆衛生

め、これまでの公衆衛生医師人材確保に

おける研究面からの取り組みを網羅的に

レビューし、充足部分と欠落部分、経時

的な調査が必要な内容等の精査を行っ

行政に携わる医師人材確保を進めるた

1. 公衆衛生医師の確保と育成に向けて

今回対象とするのは本研究課題だけで なく、2011年度より開始された地域保 健総合推進事業「公衆衛生医師の確保と 育成に関する調査および実践事業 | 等 (以下、事業班)の調査である。事業班で は、調査だけでなく公衆衛生医師の業務 紹介やキャリアパスに関するセミナーな どの啓発・教育面の事業も行っている。 事業班の取り組みには地域保健所主催の 小規模セミナーや全国保健所長会による セミナー開催といったイベントの企画及 び公衆衛生医師の業務紹介やキャリアパ スに関する動画公開、SNS や交流会等の 情報発信も含まれる。2017年度には上 記事業班により「自治体における公衆衛 生医師の確保・育成のガイドライン」が 策定され、公衆衛生医師の確保・育成を 進展させるため取り組んでいるところで ある。以下、表1として事業班の事業内 容を示す。事業班は本研究班の研究分担 者も中心的になって参画し、連携・補完

しながら進めている。

表 1. 令和 4 年度公衆衛生医師の確保と 育成に関する調査および実践事業班 事 業内容

【調査】

- 1) 医学生・研修医の進路選択に 関する実態調査
- 2) 社会医学系専門医制度による 育成に関する実態調査
- 3) 公衆衛生医師のコンピテンシ ー獲得に関する事例の調査

【事業】

- 若手医師・医学生向けサマーセミナー (PHSS) 開催
- 2) 公衆衛生医師合同相談会 (PHCC・オンライン) 開催
- 3) 日本公衆衛生学会総会自由集 会"公衆衛生医師の集い"開催
- 4) 専攻医のための交流・勉強会 ウィンターセミナー (オンライン) 開催
- 5) 公衆衛生医師を広く周知 する ための広報戦略の検討事業

加えて、2016年より開始された「社会医学系専門医制度」は「行政・地域」「産業・環境」「医療」の3分野を研修することにより専門医資格を取得することが出来、この制度が公衆衛生いい人材確保に与える影響についても検討が必要である。

本研究では、これまでの確保から人材 育成までの取組をレビューするととも に、各地での取組のプロセスの好事例を 収集し、その後のフィードバックも行 う。また、近年の健康危機管理事例を踏 まえた公衆衛生医師に求められる関係機 関との調整能力等、保有すべきコンピテ ンシーに関する現状と課題について分析 する。さらに、公衆衛生医師志望者の新 規開拓に向けた基礎資料として、若手医 師や医学生に公衆衛生業務に関する意識 調査を行う。これらにより、医療と行政 の橋渡しを行う公衆衛生医師の人材育成 方策の横展開を推進するためのコンテン ツを構築し、ひいては公衆衛生行政サー ビスの充実を図ることを目標とする。

本研究班では、上記の流れをふまえ、 事業班や専門医協会との住み分けを行う ためにも、自治体における医師人材確 保、事業班による人材確保・育成、社会 医学系専門医制度の効果を把握するた め、これまでの調査レビューを行った。

本研究結果は、研究班全体で行う各地 の医師人材確保の好事例収集、公衆衛生 医師に求められる能力分析、さらに、若 手医師や医学生の公衆衛生業務に関する 意識調査にも役立てられると考えられ る。

B. 研究方法

日本公衆衛生協会に保存、ならびに厚生 労働科学研究成果データベース

(https://mhlw-

grants.niph.go.jp/search) に公開されて いる調査研究報告書のうち 2010 年から 2022 年までの公衆衛生医師確保・育成 に関する調査を調査対象者別に分類し た。

また、公衆衛生協会所蔵の報告書も精 査し、調査結果のうち

- 1) 調査年度
- 2) 調查対象者
- 3) 調査人数
- 研究デザイン 4)
- 5) 調査概要と目的
- 6) 主な結果
- 7) 調査項目

を整理した。

<倫理的配慮>

C. 研究結果

2010 年から 2022 年までの公衆衛生医 師確保・育成に関する調査を調査対象別 に分類した(表2)。

表 2 公衆衛生医師確保・育成調査(調査 対象別分類)

調査対	全	F	⇒ 1.
象	2010~2014	2015~2022	計
都道府			
県・保健	12	7	19
所長会			
医学生	2	0	2
公衆衛	2	7	9
生医師	2	1	9
臨床医	0	2	2
師	U	Δ	2
医学部			
公衆衛	2	1	3
生学講	<i>L</i>	1	3
座			
総計	18	17	35

表 1 より、2010~2014 年に比べ 2015 年以降では都道府県庁や都道府県保健所 長会向けの調査が減少し、当事者である 公衆衛生医師や臨床医師に問いかけるも のが増加していることが明らかになった。

表2の対象者の中で最も多かった都道 府県公衆衛生医師確保・育成担当部局と 保健所長会に対して行った 19 の調査を、 テーマ別に分類したものが表3である。 この10年間にわたり、自治体における公 公開情報の利用により非該当とみなした。 衆衛生医師確保事業の現況調査はほぼ隔 年、社会医学系専門医制度発足以降は制度の周知・効果検証に関する調査がほぼ 毎年行われてきたことが分かった。

表3. 都道府県公衆衛生医師確保・育成担当部局と保健所長会に対して行った調査

内容	N	調査主担当者(年)
自治体 に 公 衆 飾 保 保 那 弾 沢		廣瀬(2021)、西垣(2019)、清古(2017)、 橋本(2013)、廣瀬(2014、2013、2012)、 松岡(2011)
自お衆師た報告に公医の広報戦略	5	村 松 (2018) 、 武 智 (2013)、大黒(2012-全 国保健所長会と保健所 宛の二種類)、島田 (2011)
社会医学 系専門医 制度に関 する認知・ 効果	4	廣瀬(2021)、清古(2017)、人見(2016、 2015)
保健け臨ののれ	2	三田(2013)、古賀(2012)

自治体調査で変化が見られた点は①公 衆衛生医師確保のための具体的な方策 (採用計画、募集方法、奨学金制度、医育 機関経由の働きかけ等)が増え、多様化した(西垣ら、2017年)、②各自治体におけるインターネット上の広報が充実した (村松ら、2018年、武智ら、2013年)、③ 中途退職・離職率が増加した(廣瀬ら、2021年)ことである。一方、変化が見られない点は、①行政医師の新規採用数・現員 数(松尾ら、2011年、廣瀬ら、2012年、2013年、2014年、2021年)、②医師臨床 研修を受け入れる保健所数(古賀ら、2012年)であった。

D.考察

上記の行政医師の新規採用数、現員数が増えない原因については、近年臨床分野の医師不足に注目が集まり相対的に社会医学や基礎医学の分野への注目が集まりにくくなっていることの影響が考えられる。退職・離職率に関する現状把握と改善のためにも、公衆衛生医師の現況(定数・現員数、充足状況、年代別勤務年数)、公衆衛生医師の所掌や事務分担について、地域保健総合推進事業による継続調査が望まれる。

保健所研修が増えない原因については、「地域医療」への注目が集まりすぎ義務化開始当初にはあった「地域保健」の文言が削除された影響などが考えられる。臨床研修医全員でなくても、興味のある研修医は保健所での研修をいずれの研修プログラムでも受けられる体制を再構築することも課題と考えられる。

E.結論

医師法第1条に医師は公衆衛生に資す るということが書かれているが、公衆衛 生を含む社会医学は臨床医学と比べ、卒 前教育を通じて接する時間が短い上に、 卒後も情報が届きにくいという状況があ り、これを覆す努力が必要である。この度 の調査レビューにより、今後の人材育成 に向けた展開に向け、公衆衛生医師を志 すきっかけとして、卒前教育と臨床研修 の中で公衆衛生行政や関連する事業に触 れ、医療現場と周囲に広がる地域社会へ の俯瞰的視野を持つこと、保健所や都道 府県等の行政機関で働く行政医師と交流 することや、自治体における医師募集情 報に関する情報を目にすること等、イン パクトを与えられる機会提供の必要性が 認識された。

また研究班内では、行政機関の中で多くの事務職や専門職を束ねる管理職として働くことの多い公衆衛生医師が、組織の中でその必要性を理解され、支援されるために身に付けておくべき行政官スキルを明確にし、コンピテンシーとして共有する必要性が言及された。この点は社会医学系専門医制度の普及や発展、人材育成と関連しながら進めていく領域である。

COVID-19 パンデミックを経て、保健所医師の所掌範囲の変化にも対応する必要がある。これまでは健診を含む母子保健事業担当として医師を採用してきた政令市等で、保健所医師に健康危機管理能力を求めるようになった事例も散見されるなど、COVID-19 前後で自治体が公衆衛生医師に対して求めるものが変わってきている。

本研究による効果的な公衆衛生医師人 材確保・育成に向けた現状把握と課題抽 出が、全国の保健医療行政に還元されれ ば、今後の保健医療人材の確保ならびに 人材充足と公衆衛生医師の活躍につなげ る指針となると思われる。

F.引用文献

- 1. 厚生労働省:保健師に係る研修のあり方等に関する検討会(2016)「最終とりまとめ〜自治体保健師の人材育成体制構築の推進に向けて〜」
 Retrieved April 20, 2018 from
 http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-10901000-Kenkoukyoku-Soumuka/0000120158.pdf
- 2. 社会医学系専門医協議会(2016)「専門研修プログラム整備基準」
- 3. 日本公衆衛生協会(2016)「公衆衛生 医師の確保・人材育成に関する調査

及び実践事業報告書」

- 4. 地域保健総合推進事業班 (2014)
 「公衆衛生に係る人材の確保・育成に関する調査及び実践活動」「公衆衛生医師(保健所等医師)の確保」
 http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/koushuu-eisei-ishi/index.html
- 5. 厚生労働省(2005)「公衆衛生医師 の育成・確保ための環境整備に関す る検討会報告書」平成17年1月18 日(公開).

http://www.mhlw.go.jp/shingi/2005/01/s0118-4.html

- 6. 厚生労働省(2014)「地方自治体に おける公衆衛生医師の確保と育成に 関するガイドライン」平成26年3 月31日(公開).
 - http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakun itsuite/bunya/koushuu-eiseiishi/ikguideline.html
- 7. 厚生労働省(2016)「公衆衛生医師 確保に向けた取り組み事例集」平成 28年3月(公開).平成27年度地域保 健総合推進事業.

http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000119115.pdf

8. 国立保健医療科学院. 厚生労働科学研究成果データベース https://mhlw-grants.niph.go.jp/search

G.研究発表

学会発表

1)第81回 日本公衆衛生学会「公衆衛生 医師の確保と育成に関する調査および実 践事業」 地域保健総合推進事業(全国保 健所長会協力事業) シンポジウム 16 2022/9/8 甲府市

論文発表

1)吉田 穂波、町田 宗仁、名越 究、武智 浩之、宮園 将哉、山本 長史、横山 勝教、杉山 雄大、藤井 仁、尾島 俊之. 公衆衛生医師の人材育成・確保における調査レビューと今後の課題. 公衆衛生情報. 10:28-29 (2022)

H.知的財産権の出願・登録状況

なし

別添

1) 自治体調査項目詳細

引用番号	研究代表者	年 調査対象者	人数	研究デザー	1調査概要	目的	調査年度	主な結果										調査項目									
1	松岡洋一郎	2011 都道府県	n=131	横断	全国自治	公衆衛生	2010	公衆衛生	①公衆衛	②普及啓	③採用·	④育成、	クロス集	自由記載													
		保健所長	(138団		体概要	医師の現		医師の現	生医師の	発(実施	確保(活	どのよう	計(医師	櫚													
		会	体のうち			況、確保		況	現況(定	状況)	動・ツー	なものが	数別、設														
			回収率			や育成の			数・現員		ルの選択	あるか	置主体														
			94.4%)			現状を把			数、充足		肢から実	(行政経	別)														
2	島田晃秀	2011 全国自治	n=131	横断	全国自治	ウェブサ	2010	自治体に	ウェブサ	ウェブサ	ウェブサ																
		体(都道	(138団		体Webサ	イトに公		おける公	イト掲載	イトでの	イト上に																
		府県保健	体のうち		イト実施	衆衛生医		衆衛生医	の有無	掲載項目	記載の項																
		所長	回収率		調査	師の募集		師確保事		内容(勤	目数																
		会?)	94.4%)			情報があ		業(ウェ		務場所、																	
						るかどう		ブサイ		内容、身																	
						か調査す		F)		分、給																	
3	廣瀬浩美			横断	若手公衆	5年未満	2010	公衆衛生	年齢、医歴	公衆衛生	公衆衛生	今後、公	公衆衛生	職場にお	今後の公	人材確保		ご意見・									
		体調査か	(237名		衛生医師	の医師に		医師の		医師に	医師に	衆衛生医	医師に	けるキャ	衆衛生医	に関する	会の実施	ご感想									
		ら、経験	中26.2%		実態調査	対して希		キャリア		なった	なってか	師として	なってか	リアパス	師継続の	効果的な	する委員	(自由記									
		5年未満	回答)			望した動		志向		きっかけ	ら現在ま での所	経験した	らの満足	提示の有	可能性	方法(自	会や研究	載)									
		の医師を対象				機や現状の把握分				(きっかけ、情報	属、業務	い業務内 容(自由	度 (業務 内容、職	ж		由記載)	事業の興味の有無										
		刈家				が把握分 析を行				収集方	周、来務 内容	谷(日田記載)	場環境、				味の有無										
						か、医師				法、入職	PYEE	高し 単文/	物塚児、 地方自治														
						確保に必				を検討し			体組織、														
						要な要因				た自治体			現在のポ														
						を抽出、				数、応募			スト、人														
						積極的対				方法)			事異動、														
	ate serve at		400	144.00	4-16-61	Arr de 246 1 x		± 37.77 .	± 1/. // 1		- at Dil -	4 er er ut	6A = 4+	m ++ -> -	LEW MIN		FF 4F 1.141	0. 44-04-0	m 44 -> -				es in is m	0.70 - 0	740 4 40	ACIDIC III	Id Dd - 8 I
6	廣瀬浩美	2012 保健所設 置する	n=128 (139団	横断	自治体に 勤務する	公衆衛生 医師の確	2011	自治体に おける公	自治体人口、保健	募集の有無、ウェ	年齢別の職位の目	各種手当 の種類	採用時に 給与や職	保健所長 の該当す	複数保健 所、病		医師以外 の保健所	公衆衛生 医師が担	保健所長 の議会答	保健所長 の転勤、	県型と政 令市型の		新規採用した医師	公費で参 加可能な	職免で参加可能な	新規採用 者に対す	性別ごと に、活
		139団体	体中、		助伤する 公衆衛生	保育成に		衆衛生医		ボ、フェブサイト	坂位の日安(技	(地域手	位を決定	の談ヨりる職位	院、研究		長に任命	当する業		異動頻度	人事交流		の異動意	研修先・	加可能なものがあ	る研修計	ト、 用・取得
			92.1%)		医師の職	深月灰に 資するた		新勤務環	数、公衆	での募集	師、係	当、管理	する際の	(課長補	所との兼		4 - 1	務(感染	开り有無	共馴須及	の有無、		見、家庭	既定予算		画	用・取付 実績ある
		健所長	32.170)		場環境実	めの福利		境	衛生医師	の有無	長、補	職手当、	主な項目	佐級、課	務者の有	複数の医	に対して	症、予防			その必要		の事情へ	あり/その		ш	制度(つ
		会)			熊調査	厚生、		50	現員数、	(有の場	佐、課	住居、通	(年齢、	長級、次	無(有の	師(保健	どう考え	接種、結			性につい		の相談・	都度支出	感染研等		わり休
					70.4722	キャリア			所属別公	合は掲載	長、次	動、ほ	卒後年	長級、部	場合は、	所長を含	るか(他	核、医療			7		悩み対応	(科学	国内他部		暇、母子
						パス等に			衆衛生医	項目・場	長、部	か)	数、行政	長級、そ	兼務社の	む)が配	職種任命	監視、健					について	院、結	署、		保健休
						関してさ			師の人数	所、業	長)、職		経験年	の他)	職名、兼	置されて いる保健	を考えな	康教育、				異なる都	(担当者	研、感染	WHO,		暇、通勤
						らに補足			とその中	務、職	位ごとの	管理職手	数、臨床		務先機関	所はある	い、兼務	乳健、特				道府県間	がいる、	研、精神	JICA)		緩和措
						的調査を			のスタッ	名、給	年収の目	当カッ	経験年	昇任、昇	名、担当	かいはめる	でしの	定検診、				や厚労省	特にいな	研、公衆			置、医師
						行い、自			フ職の内	与、待	安	ト、給与	数、医学	給(年	職務)	/J 6	ぐ、任命	特定保健				との人事	いが声掛	衛生学			等の指導
						治体内で			数	遇、研修		カットの	博士の有	齡、卒後		ある場合	を考え	指導、精				公衆の現	けする、	会、保健			による休
						の公衆衛				育成、先		有無	無、専門	年数、行		は簡所	る、緩和	神、産業				状、その	特別対応	所長会、			憩、産前
						生医師の				輩のメッ			医の有	政経験年		数、うち	要件を要	医、非常				必要性	なし)	厚労省主			休暇、産
						人材確				セージ、			無、認定	数、ポス		所長が他	望)	勤講師、			1			催、自治			後休暇、
						保・育成				福利厚			医、人物	トの状		の保健所		学校医、			1			体主催、			育児休
						の課題を				生)			評価)	況、人物		と兼務の		介護予			1			医師会主			業、部分
						明らかに								評価、功		箇所数		防、認知						催、産業			休業、育
						し、確								績内容、		1		症、虐			1			医研修、			児時短勤
						保・育成								育児・介		1		待、計画			1			医学部主			務、保育
						に役立つ ために、								護状況、 本人の希		1		策定、薬 事監視.			1			催)			時間休 暇、子の
					1	<i>に</i> のに、	1		 _ _ _ _ 					本人の希	1		4	争監視、		1		1	1		1	1	取、十の

	T	1		1		T	T			T		1	T	1	ı		
7	大黒寛	2012	保健所設	n=128	横断	公衆衛生	募集パン	2011	自治体に	全国保健原		パンフ	保健所医				
			置する	(139団		医師の確	フレット		おける公		レットの	レットを	師の確保				
			139団体	体中、		保に関す	の活用状		衆衛生医		感想は	研修医に	育成につ				
			(全国保	92.1%)		るパンフ	況を把握		師確保事			渡す機会	いて、大				
			健所長			レットの	し、その		業(パン			があった	学や行政				
			会)			活用状況	内容につ		フレッ			か、実際	がなすべ				
	大黒寛	2012	全国495	n=266	横断	公衆衛生	募集パン	2011	自治体に	全国保健	パンフ	パンフ	保健所医				
			保健所	(53.7%		医師の確	フレット		おける公	所長会の	レットの	レットを	師の確保				
)		保に関す	の活用状		衆衛生医	パンフ	感想は	研修医に	育成につ				
						るパンフ	況を把握		師確保事	レットを		渡す機会	いて、大				
						レットの	し、その		業 (パン	見たこと		があった	学や行政				
						活用状況	内容につ		フレッ	があるか		か、実際	がなすべ				
	古賀義孝	2012	全国495	n=266(53	林苗 除丘	医師臨床	受入状況	2011	医師臨床	受入研修	†	13 ()2(1)	,, ,, ,		保健所長		
	D 50 900 9-	2012	保健所	.7%)	1340 ED1	研修の保	調査によ	2011	研修の保	病院数	保健所研			過去三年	等職員が		
			17K 19E 771	. 1 /0)		健所受入	り、保健		健所受入	がりわた金ス	修の病院			以内に保	医学生を	医学生の	公衆衛生
						調査			庭的变入		側による	研修受け	今年度の	健所研修		卒前教育	医師募集
11						副司道	所等で勤				研修カリ		研修受け	を行うよ	対象とし	として実	パンフ
							務する医				キュラム	入れ期間	入れ予定	う病院に	た社会医	習を行っ	レットを
							師の確保				の位置づ			働きかけ	学系講義	たか	見たか
							に役立て				け			たか	を行った		30.0
							る				**			7 6 73	か		
					横断	store highly poten	1来使用于	2012		自治体							
	1		各都道府			都道府	に勤務す			(都道府	1						1
			県保健所			県・保健	る公衆衛			県、政令		年齡階級	年齢階級				
	1		長会長及			所等に勤	生 (行		公衆衛生	市、中核	1	別の採用	別の退職	所属別、	所長兼務	医師配置	1
12	廣瀬浩美	2013	び政令市	n=127(75		務する公	政) 医師		医師の現	市) の人	自治体内	人数、性	人数、性	世代別の	の保健所	数別保健	
12	/50 MX/H 50	2013	等の保健	.0%)		衆生成医	の在籍状		況	口規模	保健所数	別と、前	別と、前	公衆衛生	数	所数	
			所長			師に関す	況を把握		200			職	職	医師数	***	771 ±X	
						る実態把	するとと					月時发	月间及				
			170名			握	もに、採										
							田台课職										
					横断		公衆衛生	2012	自治体に	公衆衛生		公衆衛生					
							医師の確		おける公	医師職員	公衆衛生	医師職員					
							保・育成		衆衛生医	の確保・	医師職員	育成のた					
							につい		師確保事	育成のた	の確保の	めの具体					
							て、これ		業(全	めの基本							
							までの自		舟殳)	的な考え	ための具	的な方策					
							治体調		/3.2.7	方	体的な方	研修計画					
							查、医育			/ /	策	の策定・					
						公衆衛生	機関調査				採用計	運用、人					
			本研究班			医師確保					画、募集	事面での	公衆衛生				
			の班員及				を踏ま				方法、自	支援、職	医師職員				
			び助言者	n=16(100		と育成に	え、アン				治体間の	場環境整	の確保・				
13	橋本弥生	2013	等が所属	%)		関する自	ケート調				人事交	備、調査	育成のた				
			する16自	,		治体の取	査ではわ				流、奨学	研究・企	めの体制				
			治体			り組み事	かりづら				金制度、	画立案事	整備				
) H 1+-			例調査	い具体的				公衆衛生	業等への	LE VIII				
							な対策等				医師確保	参加、医					
							につい										
	1	ĺ	l	ĺ			て、班員			1	推進登録	育機関と					
	1	1	l	1	1		の所属す	1	1	1	事業、医	の連携、			1	1	1
	1	ĺ	l	ĺ			る各自治			1	育機関で	専門能力					
	1	ĺ	l	ĺ			体等を中			1	の働きか	の向上、					
	1	ĺ	l	ĺ			心に聞き			1	け等	処遇の工					
	1	1	l	1	1			1	1	1	Ì	夫 等			1	1	1
	1		-		横断	1	取り調査保健所に	2012	1	臨床研修	-	1		1			1
	1	ĺ	l	ĺ	1344 BYT			2012			1						
	1	ĺ	l	ĺ			おける臨			の受入を	1						
	1	ĺ	l	ĺ			床研修及			行ってい	1						
	1	ĺ	l	ĺ			び医学生			るか	臨床研修						
	1	ĺ	l	ĺ		医師臨床	の実習等		医師臨床	1	病院にお			保健所か			
	1	ĺ	全国の保	- 207/55			の状況を			1	ける研修	200 / A 3 /-	保健所の		医学生へ	FE 255 45 45	
14	三田晃史	2013	健所494	n=307(62		研修の保	調査し、		研修の保	1	カリキュ	受け入れ	受け入れ	ら医療機	の講義の	医学生の	自由記載
	1		か所	%)		健所受け	保健所等		健所受入	1	ラムにお	研修医数	の意向	関への働	状況	実習	1
	1	ĺ	l ***	ĺ		入れ調査	で勤務す		調査	1	ける位置		10	きかけ	1 0		
	1	ĺ	l	ĺ			る医師の			1	づけ						
							- S EZ EII (1)		•	1	1 / 1/	1	1	1	1		1
							rate (IDI TITL Y "										
							確保及び										
							確保及び 育成に寄 与する										

13	橋本弥生	2013	本研究班 の班員言 等が所属 する16自 治体	n=16(100 %)	横断	公医と関治り例ののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	公医保にてま治査機をえケ査かいなにてのる体心衆師・つ、で体、関踏、一でり具対つ、所各等に衛の育いこの調医調まアトはづ体策い班属自を聞生確成 れ自 育査 ン調わら的等 員す治中き	2012	自治体におりのでは、おけるとのでは、おけるとのでは、というでは、これでは、おいっとは、おいっとは、おいっとは、おいっとは、おいっとは、おいっとは、おいっとは、おいっとは、おいっとは、おいっとは、おいっとは、	公医の育め的方 の	公医のた体策採画方治人流金公医推事育のけ衆師確め的 用、法体事、制衆師進業機働衛職保のな 計募、間交奨度衛確登、関き等生員の具方 集自の 学、生保録医でか	公医育め的研の運事支場備研画業参育の専の処夫衆師成のな修策用面援環、究立等加機連門向遇衛職の具方計定、で、境調・案へ、関携能上の等生員た体策画・人の職整査企事の医と、力、エ	公衆衛生 医師職員 の確保・ 育成のた めの体制 整備
14	三田晃史		全国の保 健所494 か所	n=307(62 %)	横断	医師臨床 研修の保 健所受け 入れ調査	取保お床びのの調保でる確育与りひいのではりででは、おりでは、はなりでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	2012	医師臨床 研修の保 健所受入 調査	臨床研修 の受入を 行ってい るか	臨床研修 病院るリカラン カリムる位 でけ でけ	受け入れ研修医数	保健所の 受け入れ の意向

15	武智浩之	2013	全国の保 健所を持 つ自治体 115か所	52か所 (募集を 行ってい た自治 体)	横断	Webサイ ト 関 ま ま ま 担 握 担 を る と と と と り た り た り た り る り る り を り る り る り を り を り を り を り を	各にwトのをし衛にのな自対応・充提、生つ効確治しサ広実案公医い果保体、イ報化の衆師で的に	2012	自治体におりている。おりでは、おりでは、はないでは、はないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	集情報があるか	ウイ掲内勤所内分条キパ修公ェト載容務、容、件ャス内衆ブで項、場勤、支、リ、容衛サの目 務身払 ア研、生					
			保健所設		横断		つなげて いくこと を目的と する。				医のセトリン・大師がップ・大師がップ・大師がっている。					
16	廣瀬浩美	2014	置141か都、20 付別のでは、141か都、20 付別のでは、147年には、147年に	対象自治体114団体中75団体(64.7%)(東京括して人ってがあっため)		医師の採用・育成等実態調査(自治体調査)	公医用対職をしの資衛の育や因握今策の対する。	2013	公衆衛生 医師の現 況	(行政) 医師数の 在籍状況 (過去5 年)	採用計画 の有無	地域の保 健医療機 関との情 報共有	人事処遇 の工夫	公衆衛生 医師確保 推進登録 事業の活 用	公衆衛生 の講義	医学生等 を対ま実 して、 シップ等

18	人見嘉哲	2015	保健所を 設置する 自治体 (142カ 所)	n=101(71 %)		専門度る生のケの自動は変になるをからいます。	社会専門が生保の事業の はいまま は ままま は ままま は ままま は ままま かいま は ままま は ままま は ままま は まままま は まままままままままま	2014	社会医学 系専門医 制度によ る影響	属先の人 数、採 用・退職 状況	専門医のの 医更を に援 をと か あるか	が退職理	新専門医 制度を 知ってい るか	新専門医 制度が乗師の影響の に影か	系専門医	社会専門が生 無関節 大会で 大会で 大会で 大会で 大会で 大会で 大会で 大会で
22	人見嘉哲	2016	保健所を 設置する 自治体 (142カ 所)	n=99(70 %)	横断	専度る生のケ①向門に公医アー自けの分割す衛へ	社系制す衛の集公医保育点会専会的をめ会専度る生意約衆師・成か医門になす医門に公医見し衛の人のら学医具提る学医対衆師を、生確勢観社系協体案た	2015	社 系 専 度 と 響	公(医在(年年人属数用状衆行師籍過)代数先、・況衛政数状去 別、の採退生)の況5 の所人 職	新専門をでいるか	新専門が生採響の影響を必要を	社会医学 新度の知っか	社系制衆師にるのと はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた	自し医門にて体社系制与るかと会専度しか	

	清古愛弓	2017	保健所長	n=49	横断	自治体の	自治体の			1)研修プ	2)研修プ	3)大学等	4) 保健	5) 本	6)研修プ	7)専門医	8)検討会	9)社会医		
			会(49保	(回収率		社会医学	社会医学			ログラム	ログラム	から保健	所の位置	庁・指定	ログラム		の設置状			
			健所長	100%)		系専門医	系専門医			取り組み	タイプ	所への協	づけ	都市・中	作成にあ	把握状況	況	医制度に		
			会、47都	,		制度に関	制度に関			状況	自治体中	力依頼状	研修期間	核市・大	たり苦労	保健所長	庁内会議	ついて		
			道府県、			する自治	する自治			取り組み	心のプロ	況	施設、研	学等との	した点	会とし	を設置、	本庁は協		
			名古屋			体の取り	体の取り			状況調査	グラム、	あった、	修期間施	連携	複数回答	て、自治	保健所長	力的か、		
			市、福岡			組み状況	組み状況			(未定、	大学との	なかった	設・研修	大変深	本庁の理		会に設	保健所長		
			市)			調査	調査		社会医学	検討予	合同プロ		連携施	まった、	解を得る	て、保健	置、大学	会は、中		
									系専門医	定、検討	グラム、		設・研修	深まっ	こと、副	所長会と	関係機関	核市等		
24								2016	制度によ	中、申請	大学中心		連携施	た、変わ	分野の開	自治体と	と設置	は、保健		
									る影響	予定、申	のプログ		設・研修	らない、	拓、大学	して、把		所長会の		
										請済み、	ラム等		協力施設	わからな	との調	握してい		制度評価		
										認定済				い	整、中核	ない、把				
										み)					市等との	握予定は				
															調整、保	ない				
															健所間の					
															調整、そ					
															の他					
	清古愛弓	2017	保健所長	n=41	横断	自治体に	<u> </u>			1) 研修	2) 専攻	3) 専攻	4) 大学	5) 大学		7) 大学			10) 本庁	
			会(49保	(回収率		おける社				プログラ	医登録料	医履修等	等からの	等からの		と連携し			勤務の公	
			健所長	83.7%)		会医学系				ムの自治	の費用負	に関する	専攻医受	専攻医の		て確保の			衆衛生医	11) 中核
			会、47都			専門医制				体ホーム	担状況	服務の扱	け入れプ	取り扱い	6) 公衆	ために取			師の給与	市との連
			道府県、			度活用状				ページへ	公費負担	い	ログラム	状況	衛生医師	り組んで			本庁と保	携
			名古屋			況調査				の掲載	あり、一	研修扱	作成状況	研修医の	募集で取	いること		9) 公衆	健所で医	県の保健
			市、福岡							掲載済	部公費負	い、出張	作成し	扱いに准	り組んで	(複数回		衛生医師	師の給料	所長会の
			市)							み、掲載	担、個別	扱い、職	た、検討	ずつ、大	いること	答)	8) 公衆	の移動先	表の統一	会議に中
										予定、専	対応、保	免扱い、	中、今後	学等と研	(複数回	医学生実	衛生医師	について	があるた	核市等も
									社会医学	門研修プ	健所長会	個別対	検討、未	修に関す	答)	習受け入	のキャリ	保健所と	め、異動	参加して
									系専門医	ログラム	が負担	応、未	定、その	る協定を	HPで業務	れ、専門	アパス作	本庁のほ	による不	いる、研
25								2016	制度によ	を検討	ん、公費	定、検討	他	結ぶ、未	紹介、	研修管理	成状況	かに移動	利益は生	修にs中核
									る影響	中、掲載	負担な	中、その		定、その	リーフ	プログラ	作成して	先があ	じない、	市も参加
									- ~~ 🗀	なし、そ	し、未定	他		他	レット作	ム委員会	いる、い	る、保健	本庁と保	してい
										の他					成、保健	に参加を	ない	所と本庁	健所で医	る、公衆
															所説明会	依頼、大		の畏怖道	師の給料	衛生医師
															実施、動	学の専門		がある、	表が異な	の相互の
															画作成、	研修プロ		その他	る(本庁	移動があ
															その他	グラムで			に移動す	る、中核
																の副分野			ると給与	市なし、
																の受け入			が減って	その他
																れ、大学			しま	
																と意見交			う)、本	

	村松司	2018	全国保健	n=154	横断	動画・	動画·		自治体に	1) 動画	内容につ	動画デー	リーフ	配布部数						
	1112 (1)	2010	所長	(37.4%	1XIVI	リーフ	リーフ		おける公	について	いて	タ頒布希	レットの	HU-111 HP XX						
			412名)		レット媒	レット媒		衆衛生医	使用経験		望動画編	内容につ							
				,		体の具体	体の具体		師確保事	50,131=31		集ノウハ	いて							
						的な活	的な活		業(動			ウを持つ	-							
						用、作成	用、作成		画・リー			人で協力								
						過程の振	過程の振		フレット			してくれ								
						り返り、	り返り、		媒体)			る人								
						利用状況	利用状況													
33						の調査	の調査を								希望や意					
							行い、そ								見等					
							の結果を													
							もとによ													
							り効果的													
							な広報媒													
							体利用の													
							在り方に													
							ついて検													
							討を行う													
	西垣明子	2019	保健所を	116自治	横断	公衆衛生	各自治体	2018	自治体に	1) 臨床	違う部署	医師確保	実施して	今後、何						2019年4
			設置する	体(回収		医師の確	の医師確		おける公	医確保に	で担当し	施策を実	いない理	らかの医						月現在の
			自治体の	率		保に関す	保担当部		衆衛生医	ついて	ている場	施してい	由	師確保施						公衆衛生
			健康福祉	89.9%)		る自治体	署の現状		師確保事	医師確保	合の連携	るか		策を実施						医師の状
			主管部局			調査	等につい		業の現況	担当部署				する予定						況につい
			129自治				ての調査			は臨床医				があるか					->	て
			体							と公衆衛							これらの	都道府県	2) 公衆	保健所
										生医師と					医師確保	医師確保	制度を公	医師確保	衛生医師	数、所長
										で異なっ					制度につ	制度利用	衆衛生医	計画につ	確保につ	が兼務し
										ているか					いて、地	者を制度	師確保に	いて、公	いて	ている保
0.4															域枠・就	利用期間	活用する	衆衛生医	医師確保	
34															学資金以	内に公衆	ことにつ	師確保に	担当部署	
															外の制度	衛生分野	いて過去	ついて盛	は、臨床	健所の公
															を実施し	に配置す	に議論さ	り込まれ	医と公衆	衆衛生医
															ているか	ることは	れたこと	る予定は	衛生医師	師数、う
]]]						可能か	があるか	あるか	で異なっ	ち、保健
																			しいるか	
]]]										
]]]										
																				り、保健 所長を兼
																			ているか	所長数、 本別が本 方の生 の を がな衆 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の

38	廣瀬浩美	2021		n=40 (回収 率:87%)	横断	自勤公医得予する 医得予する と りょう と りょう と りょう と りょう こうしょう はんしょう はんしょく はんしん はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしん はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし	公医や防にてと医門立る査衛獲職た夫る社系がてをるせ系がでをる。	2020	自治体に おける公 衆衛生保事 が現況	おける公 衆衛生医	年、2019	公衆衛生 医師募集 状況、募 集人数	公衆衛生 医師獲得 のために 工夫して いること	公衆衛生 医師のためのである。 かいている。 と	医師離職予防に必要と思わ	社会医学 系確保に が 育成 っか	社会医学 系専門医 が離職的 止に役 立ってい るか
----	------	------	--	-----------------------	----	---	---------------------------------	------	------------------------------	--------------	--------	-----------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	--------------	-------------------------	---

2) 医学生向け調査項目

No	研究班名(年)	対象者	人数	タイトル	目的	調査項目	調査項目②	調査項目③	調査項目④	Ð			
	宮園将哉 (2012)	衛生学・	16校18学	医育機関	医学生の	調査日、年	講義受講の	次の機関	保健所実	保健所に行	保健所等地	次の公衆	公衆衛生
		公衆衛生	年(14校	および医	公衆衛生			で医師が	習参加の			衛生分野	分野の行
		学教室	1学年、2	学生を対	に対する			働いてい	有無、参			の機関で	政機関で
		185教室	校2学	象とした	認識につ			るのを	加後の感			働くこと	働く医師
		を経由し	年)	調査	いて現状			知ってい	想(とて			に興味は	が不足し
		た医学生	n=1367		を把握			るか(国	も興味を			あるか	ている
		対象	(配布数		し、公衆			際機関、	持てた、			(研究機	が、興味
			1630に対		衛生医師			国の行政	興味を持			関、国際	を持って
			して		の確保・			機関、地	てた、な			機関、国	もらうた
			83.9%)		育成につ			方行政機	んとも言			の行政機	めには何
			男性862		いてより			関)	えない、			関、地方	が有効か
5			名		具体的な			保健所長	あまり持			行政機	(大学講
			(63.1%		対策を進			は原則医	てない、			関)	義での情
)、女性		める情報			師である	全く持て				報提供、
			496名		を得るた			ことを	ない)				保健所研
			(36.3%		め。			知ってい					修、現場
)、年齢					るか					の医師か
			は18~41					保健所長					らの情報
			歳、平均					の業務内					提供や声
			23.2際、					容を知っ					掛け、業
			3, 4学年					ているか					務紹介パ
			が1060名					(知った					ンフレッ
	1 = 5 (0010)	4 1 334 5	(77.5%	() ma /m / ()				機会は何					ト、Web
	大黒寛 (2012)	4大学医	n=293	公衆衛生	募集パン	パンフ	就職後の		パンフ				
		学生	(回収率	医師の確	フレット	レットの	処遇や研		レットの				
			記載な	保に関す	の活用状	内容につ	修体制に	パンフ	デザイン				
			し)	るパンフ	況を把握	いて・わ	ついて、	ハッノ	はどうか				
				レットの	し、その	かりやす	よい・良		(興味を				
				活用状況	内容につ	い、わか	いと思わ	党 と 公 糸 衛生 医 師	引く、写				
				調査	いての意	りにく	ない、よ	に興味が	真やイラ				
					見を把握	い、参考	くわから		ストが多				
					し、今後	になった	ない、	(就職を	いほうが				
					の募集の	(保健	もっと詳	考えた	よい、仕				
9					参考に資	所って何	細を知り	い、興味	事内容が				
3					する	をしてい るの?、	たい(年収、勤務	が持て	わかる写 真、イラ				
								た、どち					
						医師とし	時間、		ストに、				
						て求めら れるも	キャリア パス、研		若い医師向けのデ				
							ハス、研 修体制)	退屈そ	ガイン				
						の、公衆衛生医の	1995年中リノ	う、興味	に)				
						御生医の メリッ		がもてな	V-)				
						ト、保健		(v)					
						所勤務の		- /					
						良いとこ							
						及いこころ、保健							

3) 臨床医師向け調査

No	राग्य क्रांग्र	社会主	1 */-	h / L ii	P#1	细木佰日	囲木佰日/	囲木店日/	週末百日/	0						1							1	1	1		1
No	研究班名	刈家有	人数	タイトル	日的	削 盆坝日	調宜項目	調宜項目	調査項目(Ð																	
						(I)																					
- 00	+ m (+ \+	re	110		() rfn (h- 4L-	+44 + ×L	A	→ t → #L	4400	alla Zér I I	TD #1 76 4L	A- IIA	E (2.10).		37/8 +/ e	11.661 at an	7/4 **	7/4 + 0		BB # 11	mt et m 1		+ 00 m 1/m	10 ± 0 #L	TR + 0 //	B/E + W	.
29		臨床医と	n=110		公衆衛生		主たるご				現勤務先	牛節	居住地	家族構成			子供の有		同居の有 無						現在の仕		
		して勤務	(調査会		医師の充			務先の住	住地から	ける臨床	での勤務			h	有無	有無	無	の場合:	無	の場合:		する診療	格		事を志望		
		する45歳				くださ	別	所地	勤務先ま	の割合	期間							人数		同居者数		科		務する前		や自治体	
		未満の女	するウェ		ため、女	い。			でのおお												間			の主な職	機	(都道府	や環境の
		性医師	ブサイト	意識調査	性医師を				よその通																	県・市町	
			を用い	を通じた	対象とし				勤時間を																	村など)に	
			て、調査	公衆衛生	た公衆衛				お教えく																	勤務する	
			会社の保	行政医師	生医師				ださい。																	医系技官	
			有する医	の人材充	キャリア																					や保健所	
			師パネ	実と育成	の価値創																					医師など	さい
			ル)	のための	造や広報																					の「公衆	
				研究	戦略の検																					衛生医	
					討を目的																					師」に関	
					とした																					して、先	
																										生は以下	
																										の項目は	
																										どの程度	
																										当てはま	
																										ります	
																										か。	
30		現役臨床	n=412	ウェブア	自治体		同居のご						あなたの	あなたは			ご自身の		あなたが	あなたに	これまで						
	(2018)	医師	(男性	ンケート	(市町村		家族を教		現在医師	主に働い	働いてい	医師とし	主たる診	専門医資	お持ちの		現在の年		将来希望	とって公	の経験を						
			372、女	を用いた	の保健所		えてくだ		として働	ている	る (い	て働いて	療科を教	格を持っ	専門医資		間収入を	間収入	するキャ	衆衛生医	通じて、						
			性40 名)	公衆衛生	等)で働	居家族の		てから何	いていま	(いた)	た) 主な	いる(い	えてくだ	ています	格名を教		教えてく	と、公衆	リアにつ	師という	ご自身の						
				医師意識	く公衆衛	人数をお	(いくつ	年目です	すか?	勤務先の	勤務先の	た)期間	さい。	か?	えてくだ	有無につ		衛生医師	いて教え	領域の興	能力につ						
				調査を通	生医師の	教えくだ		か?		種別を教	都道府県	をお答え	(いくつ	※専門医	さい。		※手取り	(常勤)	てくださ	味関心に	いて教え						
				じた	確保や人	さい。	※ご自身			えてくだ	をお答え	くださ	でも)	とは専門	(いくつ	てくださ	ではなく	の年間収	い。	ついて教	てくださ						
				公衆衛生	材育成の	※家族以				さい。	くださ	い。		医機構が	でも)		給与額面	入の差に		えてくだ	い。						
				行政医師						(ひとつ	い。	※月数は		指定する		衛生医師		関するイ		さい。	経験内容						
				の人材確	衆衛生医					だけ)		切り上げ		専門医を		の勤務経	(額面)	メージに		※現在公	はご自身						
					師および		さい。					てお答え		指しま		験がある		ついてお		衆衛生医	のこれま						
				のための	それに関	さい。						くださ		す。		場合はそ	くださ	答えくだ		師として	での業務						
				研究	連する意							い。				の期間を	い。	さい。		勤務して	経験(臨						
					識・実態	は含めず										教えてく		公衆衛生		いる場合	床・研究						
					等を調査	にお答え										ださい。		医師の収		は今後の	等を含						
					すること	くださ										※月数は		入はご自		意向をお	む) につ						
					により、	い。										切り上げ		身と同一		答えくだ	いてご回						
					今後の方											てお答え		経験年数		さい。	答くださ						
					向性探索											くださ		かつ同年			い。						
					における											い。		齢の公衆									
					一助とす													衛生医師									
					る。													(常勤)									
1	1		l		調查対				1				1			1		の年間収	1	1			1		1	1	

4) 公衆医師向け調査

No	研究班名(年)	対象者	人数	タイトル	目的	調査項目	調査項目の	調査項目	3調査項目	i)													1						
						(1)																							
3	廣瀬浩美 (2011)	全国自治	n 60	サイハ 中	[左土洪	左赴 匠	B 八典	八典衛升	今後、公	八典海井	単担にか	△後の八	1 #17#/0	伊油花目	ご意見・								-						
3	庾凞/ (2011)					牛即、区/																							
		体調査か		衛生医師			医師に	医師に	衆衛生医				に関する		ご感想														
			中26.2%	天 悲詞盆			なった		師として				効果的な		(自由記														
		5年未満	回答)		望した動		きっかけ						方法(自		載)														
		の医師を			機や現状		(きっか		い業務内		無		由記載)	事業の興															
		対象			の把握分		け、情報			内容、職				味の有無															
					析を行		収集方	内容		場環境、																			
					い、医師		法、入職			地方自治																			
					確保に必		を検討し			体組織、																			
					要な要因		た自治体			現在のポ																			
					を抽出、		数、応募			スト、人																			
					積極的対		方法)			事異動、																			
17	廣瀬浩美 (2014)	上記保健	n=770	公衆衛生	公衆衛生	個人属性	勤務先の	職名	職位	キャリア	以前の職	公衆衛生	公衆衛生	自らの就	就職先の	これまで	入職後に	自治体ご	公衆衛生	公衆衛生	公衆衛生	他の自治	医育機関	長く勤務	臨床医等	今後長く	公衆衛生	公衆衛生	現在の満
		所に勤務		医師の採	医師の採	性別、年	公衆衛生			免許取得		医師に興							医になっ										
		する公衆	1		用・育成		医師数			後			する情報						てから受									てのやり	
		衛生医師	ĺ			域、自治				- · 行政経験		ことに	源						講した研		究事業に			を育てる				がいとは	
					職要因等							なった						とを知っ			参加した	,	係	具体的方	とはある		う思うか		
						別、勤務						きっかけ						ていたか			ことがあ			策とは			, ,		
					し、今後																るか								
					の対策に	,,																							
					資する。																								
19	人見嘉哲 (2015)	自治体に	n=571(75	車門医制		個人属性	勤務先の	保健所長	職位	キャリア	保有する	専門医資	更新の困	産業医資	職場で資	新車門医	新車門医	公衆衛生	臨床医か	公衆衛生	补会医学	补会医学	十 会 兵学	补会医学	将来的に	公衆衛生	臨床医等	今後長く	現職に満
) (3000 L (2020)	勤務する					公衆衛生			免許取得			難さと理						ら公衆衛										
		公衆衛生	10,0,		制度が公		医師数	з цз			格の数、	予定	±	IH - 137M					生へ転職										るか
		医師				域、自治				行政経験		, , ,	<u> </u>		配慮があ				するハー			-					思ったこ	* .3	<i>913</i>
		(753		のアン	が確保に					13 SVIT-SV	3 A.H				るか				ドルは高						たいか		とはある		
		名)		ケート		別、勤務									<i>5</i> 13			ハードル				して何が		•	, , , ,		t t		
		11/			響を探る													は高くな	1.0.01	7.0.011			あるか				N.		
				H F F F H H	耳に水の	76												るか				// 97/1	נו פי (מ						
				V)			1											an,											

	21	廣瀬浩美 (2015)	専門医制	571名	女性公衆	公衆衛生	個人属性	勤務先の	臨床専門	公衆衛生	勤務の満]										
	_		度に関す			医師とし				医師の継					l	1																		
				男性376		1	性別、勤				,,,,,					l																		
			生医師へ		析		務地、行	NOME OVER	の専門	10000000					l	1																		
			のアン	_	DI .		政歴、勤		2411							l																		
			ケートで				務先、職								l	1																		
			回答し	ш		を把握	位)									l																		
			た、自治			し、今後	. ,									l																		
			体に勤務			の女性医										l																		
			する公衆			師の確保									ļ ļ	1																		
			衛生医師			や育成対									l	1																		
			(753			策に資す										l																		
			名)			3										1																		
-	23	人見嘉哲 (2016)	自治体で	n=412(53	専門医制	社会医学	個人属性	公衆衛生	公衆衛生	公衆衛生	総合的に	専門医、	更新予定	産業医資	職場で産	産業医資	社会医学	専門医協	協議会規	協議会基	協議会の	基本プロ	基本プロ	社会医学	経過措置	経過措置	科学院研							
			勤務する	.0%)	度に関す	系専門医	(年齢、	医師にな	医師に	医師継続	満足して	認定医資	t?	格を持っ	業医を担	格の維持	系専門医	議会ホー	定資料を	準プログ	情報提供	グラム7	グラム7	系専門医	の指導医	の指導医	修の参加							
			公衆衛生		る公衆衛	制度に対	性別、勤	る前の職	なってか	希望は?	いるか?	格を有す		ている	当してい	に支援、	協議会設	ムページ	ダウン	ラムをダ	の方法と	分野につ	分野につ	維持のた	要件に該	の認定を	経験と役							
			医師		生医師へ	する公衆	務地、勤	歴	らの転職			るか		か。	るか。	配慮はあ	立を知っ	を見たか	ロードし	ウンロー	して、利	いて、日	いて、深	めの基本	当するか	受けよう	立ち度は							
			(784		のアン	衛生医師	務先、自		希望は							るか	ているか		たものは	ドしたも	用したい	常業務の	めたいも	プログラ		と思って								
			名)		ケート	の意見を	治体の種								l	1			あるか、	のはある	ものは	ために学	のはそれ	ムについ		いるか								
í	27	吉田穂波 (2018)	地方自治	n=273	公衆衛生	現役公衆	個人属性	2) 性別	3) 居住地	中核市・	4) 家族構	・配偶者	一配偶	・子供の	上子供	5) 家族構	L同居	6) 医師資	7) 勤務先	8) 現勤務	中核市・	9) 居住地	10) 現勤	11) 公衆	12) 社会	13) 保有	公衆衛生	1) 公衆衛	2) 公衆衛	3) 公衆衛	4) 現在の	5) あなた	6) 公衆衛	7) 公衆衛
			体・保健	(男性	医師に対	衛生医師	1) 年齢			特例市の	成につい	の有無	者ありの	有無	ありの場	成	ありの場	格取得年	種別	先の住所	特例市の	から勤務	務先の勤	衛生医師	医学系専	するその	医師経験	生医師と	生医師を	生医師の	勤務先事	の現在の	生医師の	生医師と
			所に勤務	169、女	するコン	が持つ、				一覧を確	τ		場合:共		合:人数	1	合:同居	数		地	一覧を確	先までの	務期間	としての	門医の取	他の専門	に関する	して勤務	志望した	募集につ	業場に所	仕事につ	キャリア	しての業
			する公衆	性104	ピテン	仕事に対				認			働きの有		l	1	者数				認	通勤時間		通算勤務	得状況	医資格に	質問	する前の	動機とし	いて、ど	属する公	いて、以	形成の上	務におい
			衛生医師	名)	シーや課	する価値							無			l								期間		ついて以		主な職に	て、以下	のように	衆衛生医	下の項目	で、制度	て、不満
					題につい	観を明ら										l										下から選		ついて、	の項目は	知りまし	師の人数	はどの程・	や環境の	と感じて
					ての意識	かにする										l										択して下		最も当て	どの程度	たか。	※を教え	度当ては i	改善が必	いる点に
					調査	ととも										l										さい		はまるも	当てはま		てくださ	まります	要だと考	ついて教
						に、具体									l	1										(複数選		のを選択	りますか		۱)	か	えること	えて下さ
						的なリク									l	1										択可)		して下さ				i l	について	ſ,
						ルート対										l												()				1 1	教えて下	
						象の細分										l																i l	さい	
						化や、細										l																i l		
						分化され									l	1																i		
						た対象別									l	1																i		
						の医師確										l																i l		
						保戦略の																										l l		
						検討を行										ĺ																í l		
						j																										i l		
						1																												

31	廣瀬浩美 (2018)	社会医学	n=49	行政機関	社会医学	1) 性別	2) 年齢	3) 勤務	4) 勤務	5) 主た	6) 主た	7) 保健	8) 職位	9) 行政	10) 医歴	11) 前職	12) 産業	今後更新	公衆衛生	社会医学	社会医学
		系専攻医	(男性19、	に勤務す	系専門医			している	している	る勤務先	る勤務先	所長か	部長・局	経験年数		初期臨床	医資格を	予定の資	医師とし	系専門医	系専門医
			女性30	る専攻医	制度を公			地域	自治体の	本庁、保	の公衆衛	はい、そ	長級、次			研修医、	除く臨床	格はいく	て働いて	制度の創	の種族を
			名)	と社会医	衆衛生医				種類	健所、保	生医師の	れ以外	長級、課			医療機	系医学会	つあるか	いる現状	設は入植	希望した
				学系専門	師の確				都道府	健所支	人数		長級、課			関、大	認定の専		に満足し	のきっか	理由(自
				医制度に	保・人材				県、政令	所、保健			長補佐			学・研究	門医、指		ているか	けにんっ	由記載)
				関する調	育成の観				指定都	セン			級、係長			機関、企	導医、認			たか	
				査	点から積				市、中核	ター、地			級、係			業・事業	定医等に				
					極的に活				市、特別	方衛生研			員、分か			所、介護	ついて				
					用し、行				区、国	究所、精			らない			福祉施	行くつ資				
					政機関に					神保健福						設、その	格を持っ				
					おける社					祉セン						他	ているか				
					会医学系					ター、厚											
					専門医制					労省党中											
					度の運用					央省庁、											
					に関する					検疫所等											
					検討や改					国の出先											
					善に役立					機関											
					てる																
37	高橋千香 (2021)	PHSS,合	n=8 (🗈	PHSS.合	なぜ公衆	1) 性別	2) 年代	所属先	今まで参	参加前の	知った	公衆衛生	参加後何	参加前の	参加後の	参加して	参加して	参加が入	決め手と	現職の業	取り上げ
	123 HW T II (2022)		収率	同相談会		2) (2.5)	_/ 110	保健所、	加したこ			医師と会		公衆衛生					なった理		るべきト
		参加後行		参加後行					とがある			う、話す		医師に対			かったこ			る悩み	ピック
		政に入職			とに興味			の他	もの	医、後期		きっかけ		するイ			٤	となった			
		した公衆			を持った				PHSS,PH	研修医、		があった		メージ				か			
		衛生医師		衛生医師	のか、入				CC、両方			か									
		10名		に対する	職に与え					基礎系、											
				調査	た影響を					大学院											
					調査し、					生、産業											
					今後のセ					医、育											
					ミナー運					休・産休											
					営に活か					中、その											
					す					他											

39	廣瀬浩美(2021)	定年前に	16名(男	行政を離	離職理	年代	地域ブ	地方自治	主たる勤	職級	医歴	行政経験	現在の勤	入職前と	退職理由	転職を思	現職の選	社会医学	離職予防
		離職、ま	性10名、	職した公	由、離職		ロック	体	務先			年数	務先	入職後の		いとどま	択理由	系専門医	策として
		たはほか	女性6	衆衛生医	予防策、									違い		らせるに		が離職防	必要と考
		の自治体	名)	師に対す	転職先を											はどのよ		止に役	える制度
		に転職し		る調査	決めた理											うな働き		立ってい	や仕組み
		た公衆衛			由、社会											かけがあ		るか	
		生医師19			医学系専											るとよい			
		名			門医が役											か			
					立ってい														
					るかを調														
					査する														
40	廣瀬浩美(2021)	上記の調	8名	調査を依	離職した	上記の協	離職者の	調査した		社会医学	離職予防								
		査を行っ			公衆衛生		保健所等	側が転職		系専門医									
		た班員			医師の反		に対する			が離職防	必要と考								
				班員に対			認識	思ったか			える制度								
				する調査						立ってい	や仕組み								
					考え、自					るか									
					分が転職														
					したいと														
					思った														
					か、会離														
					職予防														
					策、社会														
					医学系専														
					門医が役														
					立ってい														
					るかを調														
					査する														

5) 医学部公衆衛生学教室向け調査

			1									
No	研究班名(年)	対象者	人数	タイトル	目的	調査項目	調査項目の	調査項目③	調査項目(2	D		
110	W1703441 (4-)	713/16	7000		шиу	1	两直交口包	两直突口。	网直交口(
	宮園将哉 (2012)	衛生学・	n=92	医育機関	医学生の	公衆衛生	学生実習	学生進路	公衆衛生	公衆衛生	保健所長	公衆衛生
	L LL 19 50 (2012)	公衆衛生	(62大学	および医	公衆衛生	講義の実	の中での	指導の関	医師確保	医師確保	会作成の	医師の人
		学教室	の92教室	学生を対	に対する	施状況	公衆衛生	わり方	の課題	の有効な	「公衆衛	材確保と
		185教室	から回答/		認識につ	(対象学	の行われ	(オリエ	(採用側	手段(臨	生医師募	育成につ
		を経由し	大学医科	調査	いて現状	年、コマ	方(対象	ンテー	の意向・	床医への	集パンフ	いてのご
		た教員	大学の	3	を把握	数、主な	学年、コ	ションで	熱意、採	勧誘、学	レット」	意見(自
		1 - 32 12 1	78.8%、		し、公衆	教員の専	マ数、内	公衆衛生	用側の待	生向け勧	を見たこ	由記載)
			全教室の		衛生医師	門(疫	容(テー	を紹介、	遇等情報	誘、行政	とがある	,
			49.7%)		の確保・	学、公衆	マの中に	外部講師	提供、保	ポストの	か。	
					育成につ	衛生、産	公衆衛生	講義で紹	健所の研	医局人事		
					いてより	業衛生、	に関する	介、個別	修受入体	化、臨床	パンフ	
4					具体的な	環境衛	ものがあ	相談が	制、教室	後期研修	レット内	
					対策を進	生、その	る、自治	あったと	内での公	に保健所	容の感想	
					める情報	他)、形	体や保健	きに行政	衆衛生と	地域医療	(わかり	
					を得るた	式(座	所があ	庁へ紹	産業環境	活動の位	やすい、	
					め。	学、	る、実習	介、進路	衛生担当	置づけ、	わかりに	
						PBL、座	はあるが	指導担当	の連携、	臨床兼業	< L\)	
						学+	公衆衛生	へ情報提	明確な	を認め		
						PBL、そ	のテーマ	供、ポス	キャリア	る、大学	医学生や	
						の他)、	がない、	ター配	パス、事	等での研	研修医に	
						外部講師	学生実習	布・パン	業や実習	究が出来	パンフ	
						有無(属	がない)	フレッ	への「公	るような	レットを	
	L E = (0010)	A = 105		() who /sh= ()		性・厚労		F)	衆衛生」	勤務体	渡す機会	
	大黒寛(2012)	全国185	n=92	公衆衛生	募集パン	全国保健	パンフ	パンフ	保健所医			
		医育機関	(185教	医師の確	フレット	所長会の	レットの	レットを	師の確保			
		教室を対	室中	保に関す	の活用状	パンフ	感想は	研修医に	育成につ			
		象	49.7%)	るパンフ	況を把握	レットを		渡す機会	いて、大			
				レットの	し、その	見たこと		があった	学や行政			
8				活用状況	内容につ	があるか			がなすべ			
				調査	いての意			に渡した	きことは			
					見を把握し、今後			数は、渡	(自由記			
					の募集の			した後の	載)			
					参考に資			反応は				
					参考に 貝する							
					9 0							

	清古愛弓(2018)	医科大学	n=70大学	社会医学	専攻医の	1) 社会	2) 専攻	3) 今	4) 保健	5) 貴教				
		衛生学公	91教室	系専門医	専門研修	医学系専	医が登録	後、貴大	所等から	室では医	6) 貴教	7) 貴教	8) 貴教	
		衆衛生学	(回収率	制度にお	を通じ、	門研修プ	されてい	学専攻医	の専攻医	学生に保		ア 質数 室では地	室の方で	
		教室等	85.4%)	ける医育	大学と保	ログラム	るか	の保健所	の受け入	健所実習		域の保健	自治体が	
		(82大		機関と保	健所の連	における	はい、い	への受け	れについ	を取り入		所と連携	設置する	
		学)		健所の公	携が推進	貴教室の	いえ	入れを希	て	れていま	所長等公	し、調査	協議会等	9) 今
26				衆衛生医	されるこ	位置づけ		望するか	受け入れ	すか?は		研究を	の委員に	後、保健
20				師育成に	とが期待	研修期間		希望す	を行っ	い、いい	師に依頼	行ったこ	就任され	所に期待
				関する連	できるた	施設、研		る、専攻	た、今後	え	していま	とがあり	ている方	すること
				携調査	め、連携	修連携施		医が入っ	受け入れ		すか?	ますか?	はいます	
					状況につ	設、研修		たら希望	る予定、		はい、い	はい、い	か?	
					いての現	協力施		する、希	予定はな		いえ	いえ	はい、い	
					状を把握	設、なし		望しない	い		0.7	٠٠٨	いえ	
					すること									

6) 継続調査項目(案)

自治体における公衆衛生医師勤務環境

自治体人口、保健所等設置数、公衆衛生医師現員数

所属別公衆衛生医師の人数とその中のスタッフ職の内数

募集の有無、ウェブサイトでの募集の有無

有の場合は掲載項目・場所、業務、職名、給与、待遇、研修育成、先輩のメッセージ、福利厚生)

年齢別の職位の目安(技師、係長、補佐、課長、次長、部長)

職位ごとの年収の目安

各種手当の種類(地域手当、管理職手当、住居、通勤、ほか)

管理職手当カット、給与カットの有無

採用時に給与や職位を決定する際の主な項目(年齢、卒後年数、行政経験年数、臨床経験年数、医学博士の有無、専門医の有無、認 定医、人物評価)

保健所長の該当する職位(課長補佐級、課長級、次長級、部長級、その他)

昇任、昇給(年齢、卒後年数、行政経験年数、ポストの状況、人物評価、功績内容、育児・介護状況、本人の希望)

複数保健所、病院、研究所との兼務者の有無(有の場合は、兼務社の職名、兼務先機関名、担当職務)

複数の医師(保健所長を含む)が配置されている保健所はあるか。

ある場合は箇所数、うち所長が他の保健所と兼務の箇所数

医師以外の保健所長に任命することに対してどう考えるか(他職種任命を考えない、兼務でしのぐ、任命を考える、緩和要件を要望)

公衆衛生医師が担当する業務(感染症、予防接種、結核、医療監視、健康教育、乳健、特定検診、特定保健指導、精神、産業医、非常 常勤講師、学校医、介護予防、認知症、虐待、計画策定、薬事監視、食品衛生、生活衛生、水質調査、廃棄物、その他)

保健所長の議会答弁の有無

保健所長の転勤、異動頻度

県型と政令市型の人事交流の有無、その必要性について

異なる都道府県間や厚労省との人事公衆の現状、その必要性

新規採用した医師の異動意見、家庭の事情への相談・悩み対応について(担当者がいる、特にいないが声掛けする、特別対応なし) 公費で参加可能な研修先・既定予算あり/その都度支出(科学院、結研、感染研、精神研、公衆衛生学会、保健所長会、厚労省主 催、自治体主催、医師会主催、産業医研修、医学部主催)

職免で参加可能なものがあるか(国内留学、感染研等国内他部署、WHO、JICA)

新規採用者に対する研修計画

性別ごとに、活用・取得実績ある制度(つわり休暇、母子保健休暇、通勤緩和措置、医師等の指導による休憩、産前休暇、産後休暇、育児休業、部分休業、育児時短勤務、保育時間休暇、子の看護休暇、子のための時差出勤、勤務時間外勤務の制限、深夜勤務制限、育児参加休暇、配偶者出産休暇